

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	2	
政策	41計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	河崎 啓二			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	研修ニーズの的確な把握と研修計画への反映を目指す。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う
②①に基づく取組み結果	平成25年12月に人材育成基本方針を改定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全職員	意図(対象をどうするのか)	求められる職員像に必要な能力を職員が身につけている
②事務事業の概要	人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の資質向上を図り、市民サービスの向上に努める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	分権時代に至り、各公共団体の独自性が求められる昨今においては、市民のために動ける職員、より高い目標を達成する自律型職員、組織力を活かせる職員が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	①人材育成基本方針の改定 ②階層別研修・実務研修の実施 ③派遣研修・自主研修の実施						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	職員数(二役、教育長を除く)	694	691	688	人	鎌ヶ谷市職員配置録
	ii	研修受講人数	859	821	1,064	人	鎌ヶ谷市職員研修概要
	iii	研修受講人数/職員数	124	119	155	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	2,929	2,753	金額(千円)	内容	3,601		
	国支出金(千円)		492	階層別研修			
	県支出金(千円)		291	実務研修			
	市債その他(千円)		1,921	派遣研修			
	一般財源(千円)	2,929	2,753	24	自主研修	3,601	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しが課題					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成25年12月に人材育成基本方針の改定を行ったが、今後はこの基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるため、研修・能力開発を実施する必要があるため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎設備機器改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	谷口 光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	老朽化した庁舎設備機器の改修工事を実施する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	電気設備及び監視システム改修工事を完了する。
②①に基づく取組み結果	実施設計及び一部電気設備が故障したことによる改修工事の実施。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	市庁舎の設備機器については、老朽化が進み不具合が生じていることから改修を行うものである。
②事務事業の概要	市庁舎施設の改修工事を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できるようにする必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	電気設備の改修工事に係る実施設計と、故障に伴う電気設備の一部改修工事を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	改修割合	0	0	7	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	0	8,380	金額(千円)	内容		117,785	
国支出金(千円)			1,333	市庁舎電気設備改修工事設計委託			
県支出金(千円)			336	市庁舎設備監視システム改修工事設計委託			
市債その他(千円)		1,200	6,711	市庁舎電気設備改修工事		103,300	
一般財源(千円)		7,180				14,485	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化が進んでいることから、機器の交換がいつ発生するのか予測がつかず、発生した場合には復旧までに不測の時間を要する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	大規模な修繕等に関する長期的な展望を踏まえながら、日々の適正な維持管理の実施によって、施設の延命化を図る必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	実施設計書を作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	実施設計及び電気設備の一部回収工事の実施。	17,966	18,755	当初	12,044	8,380	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	8,380
③達成状況	未完了			補正	5,922			
④未完了・非着手の理由	本事業は平成26年度完了を予定している。			流用・充当	789			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎耐震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	233防災対策の強化	担当課室長	谷口 光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	来庁者の安全に配慮して施工するため、仮設計画等について十分な検討を行い、その内容を反映した実施設計を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	工事着手に向け関係部署と調整を行うことと、9月補正にて事業費を計上し工事を実施する。
②①に基づく取り組み結果	来庁者の安全に配慮して施工するため、仮設計画等について十分な検討を行い、その内容を反映した実施設計を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	市庁舎の防災拠点としての整備を行い、施設の安全面の確保と利便性の向上を図る。
②事務事業の概要	市庁舎の耐震改修工事を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できるようにする必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	来庁者の安全性及び利便性に配慮した工事を実施するため、仮設計画について十分な検討を行い、その内容を反映した実施設計を行った。					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 改修割合			0	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	0	33,616	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			33,616	市庁舎耐震改修工事実施設計委託		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)		30,200			0	
一般財源(千円)		3,416			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	近い将来首都直下型地震が発生すると予想されていることから、1日でも早い耐震化が求められている					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	大規模な修繕等に関する長期的な展望を踏まえながら、日々の適正な維持管理の実施によって、施設の延命化を図る必要がある					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	実施設計書を作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	実施設計書を作成	0	49,590	当初	40,000	33,616	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	49,590		現年分	
③達成状況	未完了			補正	-40,000			
④未完了・非着手の理由	平成26年度9月補正後に事業費を計上し、工事を実施する			流用・充当	0			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	議会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	1	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	議会事務局			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	田中 幸子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	議場の音声・録音機器等の更新とともに、「開かれた議会」を実現するため、インターネットによる議場中継を可能とするシステムの構築、整備を実施する。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	目標達成のため、今後とも円滑な議会運営に努め、市民への周知を図るため効果的な事業展開を図っていく。
②①に基づく取り組み結果	効率的かつ効果的に事業を実施することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市議会議員	意図(対象をどうするのか)	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行う。
②事務事業の概要	旅費(議会運営・常任委員会等の特別旅費他)、交際費(議長交際費)、需用費(消耗品、印刷製本費)、委託料(会議録反訳、議会だより編集、印刷、折込他)			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地方分権がより一層進む状況のなかで、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮したうえで、遅延することなく事業を実施することが出来た。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	傍聴者数	790	704	634	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	16,060	20,457	金額(千円)	内容	30,427		
国支出金(千円)			5,814	委託料			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	16,060	20,457			30,427		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	行政運営を監視する機関として、適正な審議及び活発な議会運営が図れるよう環境整備が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					